



楠の葉新聞

SDGs
 (エスディー・ジーズ)
 Sustainable
 Development Goals
 「持続可能な開発目標」

17 カテゴリーの世界
 的課題に関する持続可
 能な開発目標と 169
 項目のターゲット目標
 のこと。2030年ま
 でに実現化する。

【先駆者の言葉の雫】
 「すること」を決めるの
 は簡単だ。難しいのは「し
 ないこと」を決めること
 だ。
 マイケル・デル

2015年国連の会議で採択された2030年までの国際目標だそうです。加盟国すべてで17カテゴリーの課題を解決していく取組を行うのだとか。全然関係のない遠い話だと思っていたのですが。ある記事をきっかけに身近なことだと感じるようになりました。今回はそのことについて報告します。

2015年9月、日本からは安倍総理大臣が出席して「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」が国連サミットで採択されました。アジェンダとは提案内容という意味です。2030年までに世界中の国が取り組むべき世界的課題の詳細が発表・提案されたということのようです。具体的にどのような世界的課題が提案されたのか。以下に示します。

世界を変えるための17の目標 —Sustainable Development Goals— 「持続可能な開発目標」

- ①貧困をなくそう ②飢餓をゼロに ③すべての人に健康と福祉を ④質の高い教育をみんなに
- ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑥安全な水とトイレを世界中に ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤を作ろう ⑩人や国の不平等をなくそう
- ⑪住み続けられるまちづくりを ⑫つくる責任つかう責任 ⑬気候変動に具体的な対策を
- ⑭海の豊かさを守ろう ⑮陸の豊かさを守ろう ⑯平和と公正をすべての人に
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

※オフィシャルロゴを裏面に掲載しています。

いかがですか一見、日本に住んでいる限り緊急な課題と感ずるものはありません。では？世界のどこかで起きている紛争や経済格差の著しい地域の救済。そんな程度に感じていました。考えが一変したのは大阪万博の記事を見たときです。大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、目指すものは、持続可能な開発目標（SDGs）が達成される社会。ソサエティ5.0の実現。（『キャリア通信7号で特集）つまり大阪万博では、「SDGsとソサエティ5.0の日本の取組を具体的に世界に紹介する。」ということ。SDGsの17目標が2030年の5年前にどのような形で大阪万博から世界に発信されるのか。ソサエティ5.0の構想がどれくらい実現しているのか。俄然興味がわいてきました。

169のターゲット目標を見てみると目標③の6に2020年までに交通事故死傷者を半減させるというものがある。たしか昨年度の交通事故死傷者数ともに戦後の統計で最も少なくなっていた。安全技術の進歩だと思いが、2020年東京オリンピックではさらに自動運転の実用化が世界に発信される。「そういうことか！」やはり社会の様々な出来事は何かの大きな力によって動かされている。わが国の様々な取り組みは、SDGsとソサエティ5.0の動きの中で進んでおり、大阪万博はその状況に世界にPRする絶好の機会と言える。

今回の説明では169のターゲット目標について触れることができませんでした。SDGsの詳細も含めて外務省等のHPや「SDGs」でネット検索しても見ることができません。「日本で見えている様々な出来事の大元はそこにあるのか！だからそんな取り組みをするのか！」いろいろなことが見えてくると思いますが。ぜひ一度覗いてみてください。オリンピックや万博の重要性が少し違った形で見えてくるかもしれません。

今回の先駆者
 マイケル・デル、パソコンメーカー「デル」の創業者。することを決めるのは簡単「貯金をする」しないことを決めるのは難しい「お金を使わない」なるほど。「勉強をする」「遊ばない」これから目標を立てるときは「しないこと」を決める方がよさそうな気がする。